

## 溶接構造の疲労性能設計手法国際研究拠点(FDWS)主催 第4回講演会

堤 成一郎

接合評価研究部門 接合設計学分野 准教授

溶接構造の疲労性能設計手法国際研究拠点 (FDWS) の第4回講演会『溶接構造の疲労性能評価技術の最前線』が2021年3月26日の午後14時から17時10分まで開催されました。今回はオンライン方式での開催でしたが、173名の研究者・技術者の方の参加登録がありました。本講演会では、FDWS 拠点長の藤井英俊教授による開催の挨拶の後、特別基調講演として、法政大学大学院デザイン工学研究科客員教授の森猛先生より「鋼道路橋の疲労設計と疲労強度」と題した講演を賜りました。続く基調講演では、九州大学大学院 工学研究院教授の松永久生先生

より「水素環境中における金属材料の各種強度特性に関する最新の研究」と題してご講演いただきました。最後に、本研究所の堤成一郎准教授により「溶接構造の疲労性能評価のための研究開発動向」に関する講演が行われました。本講演会は、外部講師による講演時間をそれぞれ90min.および70min.と長く設定しての開催でした。また半数以上が産業界からのご参加でしたが、鋼橋の疲労性能設計に関する最新の技術分野から、精緻な計測技術を駆使する水素環境中の材料強度研究分野に関して、活発な意見交換が行われ、盛会裡に終了致しました。

法政大学大学院 デザイン工学研究科 森 猛 客員教授 (特別基調講演) 鋼道路橋の疲労設計と疲労強度
九州大学大学院 工学研究院 機械工学部門 松永 久生 教授 (基調講演) 水素環境中における金属材料の各種強度特性に関する最新の研究
大阪大学 接合科学研究所 堤 成一郎 准教授 溶接構造の疲労性能評価のための研究開発動向